

車によりて、前板のうちに高欄あり、高欄なき板もあり、前板のうちにある木などをいふなり、

〔蛙抄車〕輿 檳榔毛車

箱無物見、有開戸、高前後

〔延喜式〕内七匠腰車一具、中略高欄、鳥居等料、檜樽二材、

〔輿車圖考〕九袖

くるまの口の左右にあるものなり、袖の表、また前袖後袖など、もみゆ、

〔桃華藥葉〕一車事

半蔀中略

網代中略袖白網代、以漆畫、牡丹或杜若

〔玉藥〕承元三年三月五日、修明門院、春日御幸也、中略右少將家嗣車、袖透タリ、未聞他家人車袖透タ

ル事、是法性寺殿、藤原忠通自白川院給タル車也、

袖格子

〔輿車圖考〕九軒格子袖格子

軒格子、袖格子、車のうちのかた棟、左右かうしあり、

〔蛙抄車〕輿、文車

壯年人ハ、袖格子三重襷、如菱軒格子、常ノ體ニテ三重襷、非菱

〔輿車圖考〕六半蔀車

台記云、仁平三年九月十日、於車中見、文書條乘檳榔車、西向立之、輓懸榻、卷簾家司文章博士長光進申、曰、外記景

良候、仰可召之由、景良自北方直進入、轅内置筥於踏板、先是開、輦戸、是開、余頼長置笏一々取之見了、

これらをもてかうがへ侍れば、輦戸はひき、ものによ、毛車物見なければ、輦戸高くば内暗か

るべし、鳳輦より出でたれば、輦戸とはいふめれ、その鳳輦の輦戸を考ふるに、

開戸

袖